

北九州市立光貞小学校父母教師会

〒807-0805 北九州市八幡西区光貞台1丁目4番1号

TEL 093-603-4511

1 会員数及び会費

区分	P 会員	T 会員	合計
会員数	638	34	672
一人あたりの年会費	3.000	3.000	2.016.000

2 収支決算（平成21年度）

	費 用	金 額	摘要(主な使途)
収	会 費	1.978.750	<総務費> 旅費・渉外費・需用費・慶弔費・通信連絡費・備品費・環境整備費・児童記念品費
	前年度繰越金	483.098	
支	その他の収入	31.954	
	合計	2.493.802	
支 出	総務費	932.789	<委員会費> 総務・成人教育・校外指導・学年学級・保健体育・広報委員会
	委員会費	541.572	
	特別積立金	700.000	
	次期繰越	319.441	
	合計	2.493.802	

3 設けられている会則、運営規則、会計規則等

会則などの名称	制定・改正年月日	要旨
北九州市立光貞小学校父母教師会規約	昭和57年4月1日	制定適用
	平成 4年4月1日	一部改正
	平成 9年4月1日	一部改正
	平成18年4月1日	一部改正

4 発足からの今日までのあゆみ

年 月 日	PTA の沿革(活動のトピックのみ掲載)
昭和 57 年 4 月 1 日	医生丘小学校より分離、浅川小学校の一部を併合して開校
平成元年 8 月 25 日	社会福祉協力校指定
平成 9 年 8 月 8 日	子ども110番設置
平成12年 4 月 1 日	小さな国際人育成モデル校
平成18年10月15日	花咲くまちづくりコンクール学校部門「優秀賞」受賞
平成22年11月26日	優良 PTA 文部科学大臣表彰

5 地域の概要

本校は福岡県北九州市の西北部に位置し、北九州学術・研究都市、産業医科大学等がかえ文教地区の中心にある。その素晴らしい教育環境のもと子どもたちはたくましく育っている。開校以来、学校教育目標を、「人間性豊かな実践力のある児童の育成」を掲げ、今日まで継続して取り組んでいる。また、校区には多くの外国の方々（九州工業大学や北九州市立大学、九州女子大学、早稲田大学大学院の留学生、研究者等）が在住しており、国際色溢れる地域である。地域住民の方々に見守っていただきながら、子どもたちを育んでいる。

本校は、昭和57年4月に医生丘小学校より分離開校し、本年度29年目を迎えた学校である。現在は、在籍児童数842名、全職員数50名、学級数25学級。知・徳・体のバランスのとれた児童を目指して教職員が一体となって努力している。

6 組織運営の状況

本校の父母教師会の組織は、役員会と総務委員会、広報委員会、成人委員会、保健体育委員会、校外指導委員会、学年学級委員会の6専門委員会に分かれ、役員20名とそれぞれの委員で構成された委員長、副委員長の24名が推進委員として学級のPTA活動の推進に当たっている。また、「光貞小ボランティアの会」という、父親を中心としたボランティア活動もある。

会員の意見は、役員や各専門委員会、学年・学級委員から理事会（役員、専門委員、教師）に上げられ、次回の理事会には対応策等を提案することとしている。また、会員には、各専門委員会において事業報告を行うほか、「理事会だより」をその都度発行して周知することになっている。

各専門委員会は、委員の意識も参加率も高く、独自に開催計画を立てるなど、自立しており活発に活動している。各組織が密に連絡を取り、協力して全体と部分の活動を推進している。

7 広報活動の状況

PTA 新聞「みつさだ」を年3回、特集号として「こだま」を発行している。また、理事会だより、各専門委員会の事業報告をその都度発行している。いずれも内容の報告だけでなく、会員の感想や意見を吸い上げて掲載している。そのことが会員のPTA活動の理解に役立ち、次回の事業への積極的な参加となっている。

各委員のパソコンのスキルも紙面制作によって向上しており、結果として広報活動に効果を上げている。

8 学校教育の理解及び家庭教育に関する学習活動の状況

学校行事には全面的に協力しており、教育活動を側面的に支援している。

一例であるが、運動会には、役員をはじめ、OB会、警備ボランティアやおやじの会を含め、7時から70名近くが参集し、本部の設営、来賓受付、安全確保のための学校周辺巡回、片付け等、教師と児童だけでは手の回りかねる部分を分担している。また、「みんなでGO!」では、マジッ

クショー、玉入れ、ストラックアウト、グランドゴルフ、くつ飛ばし等を通して、「親子のふれ合いを大切に」をテーマに掲げ、約400人が参加し汗を流している。さらには、「おやじの会」が主催し、学級の蛍光灯の拭き掃除や窓拭き等地道な活動を行っている。このように、学校行事の円滑な運営や環境整備にPTAは積極的に関わってきた。家庭教育学級は年6回開催し、会員の成人教育に大きく貢献してきた。

9 成人教育に関する諸活動の状況

成人教育は、光貞市民センターと連携して企画、運営をしている。内容については、子育て、人権、自己啓発、親子交流等であり、会員の意見を反映させて会の持ち方を工夫している。毎回多くの参加があり、「参加してためになった」「また参加したい」との意見が数多く寄せられている。

バス研修については、毎回募集定員を超え大盛況である。社会体験や人権学習等を行い、和やかな雰囲気の中での研修となっている。

10 児童・生徒の学校外生活の指導に関する活動状況

学警連、青少年育成協議会、自治連合会、地域会議等と連携したシンナー補導、夜間補導、啓発活動にPTAとして参加し、地域での児童の生活を守るとともに、各機関との連携を深めている。児童の学校外での活動については、光貞市民センター主催の「生き生き子ども講座」に保護者や教師が参加し、子どもたちとの交流を深めている。

11 地域の教育環境の整備に関する活動

朝の交通安全指導(黄色い旗振り運動)、子ども110番の家、校区危険箇所の点検、通学路点検、地域と連携した補導等の活動を定期的に、あるいは必要に応じて随時行っている。要注意箇所や課題の中で道路の不備、地域治安の問題等、PTAだけでは解決できないケースは、地域の団体、関係機関等に働きかけ、教育環境の改善を図っている。浅川中学校校区4校でオアシス運動を実施し朝の声かけを奨励している。

12 今後の課題

本校PTAは、役員を中心に機能的な組織運営がなされている。来年度、開校30周年を迎える学校である。教師・役員や各専門委員会が協力し一丸となって周年行事の準備を始めている。本校の課題としては、大規模校ではあるが、共稼ぎの家庭が多く役員や理事になってくれる方が年々減少している。さらには、PTA委員の選出の仕方として地区集会(5地区)での選出をお願いしているが、地区毎の人数に偏りがあり数の上での不平等差を感じている保護者も少なくない。そこで、来年度は、学級単位で選出する事ができれば一番いいのではとの意見が出た。来年度は、学級単位での委員の選出をお願いし魅力ある事業づくりを目指したい。